

## 地域に見合った農業とは

### 観光プラス農業で生活できるような農業が これからさき、生き残れる道



小池 一夫 議員

**質問：**農業の現状と問題点は。

**答弁：**十分な収入がなく、専業農家としてやれないこと、過疎化による農業放棄地の増加、有害鳥獣の被害の3点が大きな問題です。専業農家は2事、20軒、立沢で30軒くらいありますが、皆そうとう苦勞をして農地を守っています。

**質問：**収益性のある農業にするには。

**答弁：**農業での収益性の境は、水田で20町歩ないと食べていけません。乙

事でも20軒しか残れない状況です。観光と農業を力説するのは、狭い土地でも収益を上げるため。一年中働ける、冬でもイチゴができるようなハイテクを使った農業、観光プラス農業で生活ができるようにすることがこれから生き残る道です。

**質問：**農地の集約は絶対条件では。

**答弁：**農地を貸したら戻ってこないと言つ心配が強く、人には貸したくないようです。地域の中で土地の集約を考えて取り組んでいく、集落が中心になった土地の貸し出し提供ということに取り組んでほしいと思います。

□その他の質問

\* 集落担当職員について

\* 社会体育について



需要の増えるすずらん号



中山 孝 議員

### 公約実現の新年度予算の優先 課題は

#### 一億円の改革予算を組みます

**質問：**公約を実現するための新年度予算にどのような優先課題をもっているか。

**答弁：**1億円の改革予算を組みます。効率的なハウスクルトができる仕組みづくり、介護認定者の100%ケアを目指します。

**質問：**補助金の抑制と効率化とは。集落

振興補助金やすずらん号への対応は。

**答弁：**類似団体に比べ高い補助金を精査します。来年度は1億円の減収に対し、4,000万円を職員の人件費、6,000万円を事業の優先順位・補助金の見直しで賄います。福祉対策については将来的にも必要性が高く減らせません。すずらん号の需要も増えており増車を検討します。集落補助金は実情にあつたものでなくてはいけないと思っています。

□その他の質問

\* 住民の生命と健康を守るための各種検診・受診率の向上について

10人の議員がたたきました